

地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な構想（第3回変更後）

秋田県

1. 地域産業資源活用事業の促進に関する基本的な方針

本県の総生産は3兆7千億円余り（平成17年度県民経済計算速報値）であり、経済成長率は平成8年度以降はじめての増加（名目0.6%増）となっている。また、産業別構成比を見ると、一次、二次、三次産業の総生産構成比はそれぞれ3.4%、21.9%、78.0%となっているが、本県の産業構造の特徴として、建設業、政府サービスのウエイトが高い反面、製造業のウエイトがかなり低い（全国21.0% 秋田県13.5%）との課題点も挙げられる。

なお、県内経済の動向としては、一部に依然として厳しさが残り主力製造業の電気機械においては一服感があるものの、全体としては引き続き回復の基調が続いている一方、雇用情勢については、有効求人倍率も改善の動きが見られるものの、全国水準との格差は拡大し、依然として厳しさが残っている状況である。

本県には、あきたこまち等の全国有数の生産量を誇る農林水産物や川連漆器、樺細工などの特色ある伝統的工芸品や鉱業品及びそれに係る技術並びに十和田八幡平国立公園をはじめとする観光資源などが存在するが、これら「秋田の強み」を生かした中小企業の取り組みは、「活力ある秋田の創造」に必要不可欠である。

また、産業の活性化や雇用の場の拡大は喫緊の課題であるが、地域経済を活性化させるためには、これら地域産業資源を有効に活用し、創意ある工夫と取り組みの精神で事業化にチャレンジする取り組みを推進することが重要である。

2. 地域産業資源の内容

（1）農林水産物

名称	地域産業資源の存する地域
米	県全域
そば	県全域
大豆	県全域
菜の花	県全域
アカシア	小坂町
秋田杉	鹿角市、大館市、北秋田市、能代市、仙北市、藤里町、上小阿仁村、三種町
秋田蕎	鹿角市、秋田市、北秋田市
秋田由利牛	由利本荘市、にかほ市

名称	地域産業資源の存する地域
アスパラガス	鹿角市、横手市、能代市、北秋田市、仙北市、大仙市、小坂町、八峰町、三種町、藤里町
あわび	八峰町
枝豆	鹿角市、小坂町、大仙市、仙北市、美郷町、横手市
おうとう	横手市、湯沢市、東成瀬村
大屋梅	横手市
オクラ	湯沢市、東成瀬村
鹿角牛	鹿角市
かぼちゃ	大潟村
きゅうり	鹿角市、小坂町、北秋田市
こごみ	北秋田市
さといも	横手市
白神ネギ	能代市、藤里町
白神山ウド	能代市、藤里町
食用菊	横手市
食用ほおずき	上小阿仁村
じゅんさい	三種町
ジャージー牛	由利本荘市、にかほ市
すいか	横手市、羽後町
セリ	湯沢市、東成瀬村
そらまめ	大仙市、仙北市、美郷町
トマト	鹿角市、北秋田市、能代市、由利本荘市、にかほ市、大仙市、仙北市、横手市、小坂町、八峰町、三種町、美郷町、東成瀬村
とんぶり	大館市
しいたけ	能代市、北秋田市、横手市、大仙市、仙北市、八峰町、三種町、美郷町
北限の桃	鹿角市
ハタハタ（鱚）	秋田市、能代市、由利本荘市、潟上市、三種町、八峰町、男鹿市、にかほ市
比内地鶏	鹿角市、大館市、北秋田市、能代市、上小阿仁村、三種町、藤里町
豚	秋田市、鹿角市、横手市、大仙市、仙北市、小坂町、三種町、上小阿仁村

名称	地域産業資源の存する地域
ぶどう	鹿角市、横手市、大仙市、仙北市、湯沢市、小坂町、美郷町
ほうれんそう	大仙市、仙北市、横手市、美郷町
松館しばり大根	鹿角市、小坂町
みょうが	能代市、藤里町、八峰町、三種町
メロン	能代市、八峰町、三種町
モロヘイヤ	大仙市、仙北市、美郷町
山の芋	大館市、北秋田市
りんご	鹿角市、横手市、仙北市、大仙市、湯沢市、小坂町、美郷町
和梨	男鹿市、潟上市

(2) 鉱工業品及び鉱工業品の生産に係る技術

名称	地域産業資源の存する地域
秋田諸越	県全域
がっこ(漬物)	県全域
酵母	県全域
麹菌	県全域
乳酸菌	県全域
味噌	県全域
醤油	県全域
豆腐	県全域
納豆	県全域
魚醤	県全域
自動車部品	県全域
電気機械・電子部品	県全域
建築用木材	県全域
建築用木製品	県全域
木製家具	県全域
木製工芸品	県全域
秋田杉桶樽	能代市、藤里町、北秋田市、大館市、三種町、八郎潟町
秋田仏壇	湯沢市
イタヤ細工	仙北市

名称	地域産業資源の存する地域
稲庭うどん	湯沢市
樺細工	仙北市
川連漆器	湯沢市
川連こけし	湯沢市
きりたんぼ	鹿角市、大館市
銀線細工	秋田市
白岩焼	仙北市
清酒	秋田市、能代市、横手市、大館市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、にかほ市、北秋田市、八峰町、五城目町、美郷町、三種町、上小阿仁村
繊維製品	大館市
力水	湯沢市
十和田石	大館市
能代春慶	能代市
曲げわっぱ	大館市
六郷湧水群	美郷町

(3) 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源

名称	地域産業資源の存する地域
秋田犬	大館市
秋田内陸縦貫鉄道	仙北市、北秋田市
秋の宮温泉郷	湯沢市
阿仁地方の万灯火	北秋田市、上小阿仁村
大湯温泉郷	鹿角市
男鹿温泉郷	男鹿市
男鹿国定公園	男鹿市
男鹿のなまはげ	男鹿市
尾去沢鉱山	鹿角市
大曲の花火	大仙市
雄物川	秋田市、大仙市、横手市、湯沢市、羽後町
小安峡温泉	湯沢市
角館の桜	仙北市
風の松原	能代市
象潟	にかほ市

名称	地域産業資源の存ずる地域
きみまち阪県立自然公園	能代市
くらしっくロード	横手市
栗駒国定公園	横手市、湯沢市、東成瀬村
康楽館	小坂町
小坂鉱山	小坂町
後三年の合戦の地	横手市、美郷町
コブ杉	上小阿仁村
こまちの郷 湯沢	湯沢市
獅子ヶ鼻湿原	にかほ市
白神山地	能代市、藤里町、八峰町
仙北市角館 (重要伝統的建造物群保存地区)	仙北市
千畑ラベンダー園	美郷町
太平山県立自然公園	秋田市、上小阿仁村、五城目町
田沢湖	仙北市
田沢湖高原温泉郷	仙北市
田代岳県立自然公園	大館市
玉川温泉	仙北市
田沢湖抱返り県立自然公園	仙北市
鳥海国定公園	由利本荘市、にかほ市
十和田八幡平国立公園	鹿角市、小坂町、仙北市
西馬音内盆踊り	羽後町
日本国花苑の桜	井川町
八幡平温泉郷	鹿角市
マタギ	北秋田市
水沢温泉郷	仙北市
森岳温泉郷	三種町
森吉山県立自然公園	北秋田市
長走風穴	大館市
乳頭温泉郷	仙北市
能代のねぶり流し行事	能代市
能代宇宙イベント	能代市
湯瀬温泉郷	鹿角市

3. 地域産業資源を用いて行う地域産業資源活用事業を促進することにより当該地域の経済の活性化を推進する方策

(1) 個別地域産業資源に関する施策

米 秋田米総合支援対策事業 (農林水産部)

「生産振興」及び「流通販売」並びに「需給調整対策」の三大対策を包括した秋田米の総合支援対策を創設し、地域自らがニーズを把握し、ニーズにあった生産・プロモーションを展開する体制づくりを図るとともに、マーケットに対応した売れるコメづくりの実践を通じ、市場における秋田米のシェアの拡大を図る。

清酒 新需要開発対策事業 (農林水産部)

県が育成した酒造好適米「秋田酒こまち」の良質・安定生産体系の確立と品種の特性を生かした醸造技術の高位平準化を促進し、「あきた酒こまちブランド」の確立を図る。

比内地鶏 比内地鶏販路拡大推進事業 (農林水産部)

関西圏の流通業界に対して比内地鶏に対して理解を深めて頂くため、生産現場見学会のほか、生産者と意見交換会を開催すると共に、県産比内地鶏の差別化・PRに取り組むことにより、比内地鶏の一層の販路拡大を図る。

樺細工、川連漆器、大館曲げわっぱ、秋田杉桶樽

伝統的工芸品産業振興対策事業 (産業経済労働部)

国指定の伝統的工芸品である樺細工、川連漆器、大館曲げわっぱ、秋田杉桶樽をはじめとする伝統的工芸品産業について、伝統工芸に関心を抱く首都圏等の企業と継続的に情報交換を行いながら消費者ニーズの把握に努め、販路拡大、商品開発、普及啓発等の事業実施を通じて、産地の後継者確保、人材育成を促進し、産地の魅力アップやレベルアップを図ることにより生産額の増大を目指す。

稲庭うどん、きりたんぼ、みそ・醤油

特産品輸出戦略強化事業 (産業経済労働部)

海外における日本食市場のニーズを捉えながら本県特産品の海外市場を目指した積極的な販売展開を図るため、北米及び欧州において開催される海外見本市及び物産展等に県主体のブースを設置する。また、同ブースへの出展業者に対しては出展に係る経費の一部を補助する。

マタギ、比内地鶏、きりたんぼ、秋田内陸縦貫鉄道、田代岳県立自然公園、森吉山県立自然公園

北秋田スローツーリズム推進事業「マタギの森へ」
(秋田県北秋田地域振興局)

マタギ文化を色濃く残す北秋田地域で、スローツーリズム(体験型・滞在型観光)の先進的取り組みを促進する。具体的には、国際教養大学・森吉山通年観光対策協議会・ガイド専門家・旅行者・行政等による「北秋田スローツーリズム協議会」を設立し、様々な角度から意見交換や提言を行うほか、「スローツーリズム塾」を開講し人材の育成を図る。また、ガイド・宿泊業者などからなる地域プラットフォーム(観光客の総合受入体制)の構築と広域的なネットワークづくりを支援するとともに、「阿仁マタギ特区」を活用した観光や他地域と連携した回遊性の高い滞在型観光交流空間の形成を支援する。

秋田由利牛 由利牛「肥育チャレンジ」プロジェクト
(秋田県由利地域振興局)

有数な繁殖牛産地として優れた繁殖技術を有しているものの、肥育については技術体系が異なることや、初期投資を要することから、当該牛に対する取り組み者がきわめて少ない状況である。こうした状況を打破し、県外へ流出している子牛資源を管内で肥育し、秋田由利牛の生産拡大に努める。

4. 関連する施策

経営革新による企業競争力の強化

県内中小企業者の経営に必要な資金の融資の円滑化を図り、企業の健全な発展と経営の安定を促進するため、引き続き5つの制度資金を設け、低金利で企業の事業活動を支援する。このほか、商工団体が実施する、地域の中核企業経営者の育成、地域密着型の創業・経営革新、県内企業の新商品・新技術の開発等の取り組みについて支援することとしている。

秋田の強みを活かした産業の振興

ものづくり産業の裾野拡大に有効な自動車関連産業の振興を図るため、自動車関連産業への新規参入と受注拡大、競争力強化を産学官金連携による県内・東北のネットワークを活用し総合的に支援するとともに、中小企業者に対する設備貸与・導入のための資金支援を行うなど、県内製造業全体の競争力強化を促進する。

新産業・新事業創出の取り組みに向けた支援

多様性のある新規創業やベンチャー企業の育成・自立を支援するため、産業振興プラザにおけるビジネスインキュベーションの充実と利用者へのサービスの向上を図るとともに、各新事業支援機関との連携によるきめ細やかで一貫した総合支援により、県内の新規創業者数を増加させ、その後の企業としての安定・成長を支援する。また、事業転換、体質改善、新分野開拓・進出等の経営革新を促進するため、ガンバル県内企業の新技術・新商品開発、人材育成、販路拡大等を支援するとともに、優れた技術等の経営資源を有し地域の中核企業への発展が期待される企業を「あきたシナジレ・カンパニープロジェクト」により重点的・集中的に支援する。

企業支援体制の充実・強化

平成17年度から県内企業へのワンストップセンターとして産業振興プラザに「財団法人あきた企業活性化センター」を設置し、新規創業から経営革新、技術開発、販路拡大、資金支援などの各種支援メニューを活用し、総合的・専門的な一貫支援を展開している。また、同センターが特許庁より「知的所有権センター」の認定を受けるとともに新たに産学連携推進グループを設置し、県内企業等に対する知的財産権の取得・活用支援と技術開発・技術移転支援の強化を図っている。

なお、同センターは「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」に基づく秋田県の中核的支援機関として、県内26の新事業支援機関とのネットワークを構築しており、各支援機関との機能分担や連携を図りながら、一体的・継続的な企業支援を実施することとしている。

地域の素材を活かした秋田ならではの旅の提案

本県の豊かな自然や食文化、伝統行事などの観光素材を、個性化・多様化する観光ニーズに合わせて、磨き上げ、組み合わせながら、秋田ならではの旅の提案を県外に向けて積極的に発信するため、地域振興局主体による現地に密着したサポート体制をさらに強化し、地域の素材を活かした魅力ある旅行商品の開発、地域の観光ネットワークづくり、集中的な情報発信など地域の「やる気」を支援する。

広域連携による誘客宣伝等の推進

観光客の観光行動の多様化や広域化等に的確に対応するため、北東北をはじめとした他県との連携による誘客宣伝活動を着実に推進するとともに、北東北三県が共同して「北東北大型観光キャンペーン」を展開する。また、地域・民間が主役の観光振興を進めるため、社団法人秋田県観光連盟の取り組みに対し引き続き支援を行

うなど、連携強化による効率的かつ効果的な情報発信に努めるとともに、リピーターの確保と口コミ宣伝による今後の誘客を促進することとしている。

資源リサイクル産業の創出

鉱業関連基盤等を活用した資源循環型産業の創出により、環境と調和したまちづくりを目指している「秋田県北部エコタウン計画」の推進に努めるほか、県全域において、資源循環型企業の立地促進や再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）、熱回収（サーマルリサイクル）事業の創出や育成を図る。また、県内に大量に賦存し環境浄化用素材としての特性を有する天然鉱物資源を活用した新製品の開発、再資源化が可能な廃棄物等との組み合わせ技術の研究開発や新製品開発を促進することとしている。

試験研究分野における戦略的・重点的な推進（関連部分を抜粋）

（ 学術国際部 ）

(1)機能性食品開発技術

県産食品の生理機能と物理化学特性の解明を行うとともに、その利用技術を確立し、高齢者やシニア世代をターゲットに、栄養、食感、生理の3機能をバランス良く兼ね備えた機能性食品の開発を推進する。特に、コメについてはその高付加価値化や消費拡大が本県農業の重要課題であることから、コメが活性酸素消去能に相乗効果があることを活かして、活性酸素消去能の高い加工食品を開発するため、秋田大学、県農林水産技術センター、県脳血管研究センターと県内の食品・バイオ関連企業等が連準して、国等の競争的資金を活用しながら、素材の選定、活性酸素消去能を低下させない加工技術の開発を行うとともに、臨床試験等によりその効果を実証し、新たな機能性食品の創製を目指す。また、微生物・酵素の利用技術の高度化と環境対策として本県伝統の発酵・醸造技術を基盤として白神微生物資源のより一層の利活用を進める。

(2)化粧品・医薬品等開発技術

本県特有の真菌類を活用した医薬品や機能性物質を創製するため、真菌生産物の細胞レベル・動物レベルでの特性評価やヒトでの生理作用について検討する。特に、がん細胞をターゲットに、カビ・キノコから抽出した物質を添加して、有用物質をスクリーニングし、県内の種麹菌製造企業や食品製造企業と連携して機能性食品として商品化を目指す。

また、地衣類培養エキス中の薬理活性物質を同定し効率的に生産するための技術について、国の競争的資金等を活用して実用化を図り、県内バイオ企業への技術移転を目指す。これにより、当該技術を中核とするバイオテクノロジー応用技術の高度化、ヘルスケア産業への県内企業の参入機会拡大、バイオテクノロジー技術者の

雇用拡大等の効果が期待できる。

さらに、需要拡大やカドミウム汚染米の対策が課題となっているコメについては、コメデンプンの物性を画期的かつ広範囲に変換・制御し、期待どおりの性質を有するデンプンを合成する技術について、遺伝子機能制御法の確立や、デンプン由来高付加価値候補産物の分子構造解析法の開発、産業利用価値の高い酵素の探索等を推進することにより、化学物質吸収機能を有する接着剤等、デンプン由来機能性物質の開発を促進し、県内企業への技術移転を目指す。

5 . その他

中小企業地域資源活用促進法において支援対象としている中小企業の定義と、本項目で記載している施策の対象となる中小企業の定義は、若干異なる部分があります。各施策の支援を受けることを想定している中小企業者の方は、事前にお問い合わせください。